



MON Nara 通信



Numéro 12

Association Franco-Japonaise de Nara 奈良日仏協会

AVRIL 2022 4月

これからの催しご案内

第 150 回フランス・アラカルト

「NARAFRANCE 物語～ニースで学び、フランス大使館で働き、奈良で起業した」

法人会員の林薫子さんから、フランス留学やフランス大使館などでの豊富なご経験をもとに、お話をいただきます。

★日時:2022年5月28日(土)15:00～16:50 ★場所:生駒市セイセイビル 2階 201・202 会議室

★講師:林薫子(株式会社 NARAFRANCE 代表取締役)

★参加費:会員 500 円、一般 1000 円。★参加申込:sugitani@kcn.jp TEL090-6322-0672(杉谷)

★林薫子さんからのメッセージ:

明治大学大学院で「ドイツ」経営学を学び、フランスのラグジュアリー企業に興味をもったことで、あの文法書『新・リュミエール』で独学で文法を学んだだけでフランスはニースに留学したのが 1997 年。



大使館時代に関係先と

その後、ニースの大学院でマーケティングを学んで帰国後、在日フランス大使館に就職し、上席貿易担当官として、フランスの製品、企業を日本市場に紹介して 17 年。2020 年 5 月、コロナ禍に叔母の住む生駒に移住し株式会社 NARAFRANCE を起業。リモートでの日仏通訳や、大学でのフランスビジネスの講義、そしてフランス語講座講師とフランスと関わりながら、「教えること」に戻ってきました。私の経験を通して、フランスで学んだこと、フランス人と働いて体感した日仏の働き方、そして関西、特に奈良のフランス愛についてお話します。

第 5 回美術クラブ例会「エコール・ド・パリの画家たち」

長らくお待たせをしましたが、新しく誕生した大阪中之島美術館の「モディリアーニ」展鑑賞会を開催いたします。

❖日時:6月10日(金) 14:00～16:30 ❖会場:大阪中之島美術館

❖集合時間・場所:13:40 から受付開始、14:00 までに、美術館 2 階のチケット売り場周辺に集合してください。

❖会費:会員 300 円、一般 800 円。入場券は各自購入のこと(当日券 1800 円)。

❖事前解説「鑑賞のツボ」終了後、各自展覧会を自由に鑑賞してください。

❖カフェタイム:15:30～美術館内カフェか、近隣のカフェにて。感想・意見交換会を行ないます。各自精算。

❖問合せと申込先: sugitani@kcn.jp tel:090-6322-0672(杉谷)

★南城守さん(絹谷幸二天空美術館顧問)一口メモ:

約 2 年ぶりの美術クラブのご案内です。コロナ禍に続いて戦禍による世界情勢の悪化に、あらためて命の尊さを思う今日。どうしようもない無力感に苛まれながらも、何とか明日への光明をと、ささやかながら美術鑑賞の機会を設けました。

テーマは「エコール・ド・パリの画家たち」。二度の大戦の間に美術、藝術に夢と希望を抱いてパリに集った画家たちの栄光と挫折、そして命の燃焼を、心静かに振り返るひとときを共有したいと思います。中心には哀愁漂う人物像で知られるモディリアーニを。藝術の理想と現実の狭間で繰り広げられた人生をかけた心の叫びに触れ、今一度「生きるとは、美とは」を問いかけてみたいと思います。美術クラブ 2 年間の沈黙は、中之島美術館実現までの苦節 30 年の歩みに比べれば、まさにあつという間の休憩タイム!

再会を楽しみにしています!



大きな帽子を被ったジャンヌ・エビュテルヌ
『モディリアーニの恋人』新潮社より

活動記録

☆1月22日(土):第149回フランス・アラカルト「ドイツとフランスに暮らしてみて」 講師:辻みち代

今後の活動

☆表頁の美術クラブ、フランス・アラカルトのほか、7月にはシネクラブの開催も予定しておりますので、ご期待ください。

《2022 年度第1回理事会報告》…事務局

☆日時:2022年3月17日(木)15:00~16:30。 ☆場所:野菜ダイニング「菜宴」。 ☆出席者:三野、浅井、藤村、喜多、菌田、杉谷。 ☆議題 1. 2022年度会費納入額・会員数。 2. 前回理事会(1/20)後の活動:(1/22)第149回フランス・アラカルト「ドイツとフランスに暮らしてみて」、(2/11)2022年度総会。 3. 今後の行事:(6/上)第5回美術クラブ例会大阪中之島美術館鑑賞会、(7/下)シネクラブ、フランス・アラカルトのゲスト検討。 4. Mon Nara、Mon Nara 通信。 5. その他:ホームページの管理、30周年行事の検討、大阪日仏協会会報誌での当協会活動紹介ほか。 6. 次回理事会:2022年5月19日(木)15:00~16:30「菜宴」。



後記

☆Mon Nara 通信4月号と、同封にて会員名簿と会則をお届けします。 ☆1980年代後半、大阪市の文化政策に関係していた人から、中之島に新しい市の美術館ができるという話を聞いたことがありました。それから、30年以上、頓挫しかけたり紆余曲折があったようですが、ようやく今年の春開館の運びとなりました。実業家や企業からの寄贈でコレクションが成り立っているという関西ならではの美術館です。今回の美術クラブ例会は、その新しい美術館での鑑賞会となります。ご期待ください。 ☆タイムマシンに乗って旅をするとしたら、どの国のどの時代に行きたいか、という問いかけをよく聞きます。答えは人それぞれでしょうが、答えを聞けば、その人の興味がどこにあるかがよく分る設問です。美術の好きな人なら、20世紀初頭のパリと言うに違いありません。その頃のパリは美術の都として世界中から画家が集まっていたと言います。美術クラブ例会「エコール・ド・パリの画家たち」は、まさしくその時代を取りあげています。モディリアーニを中心とした展覧会ですが、ピカソ、シャガール、ローランサン、キスリングらの作品も出品されるようです。20世紀初頭のパリには、画家以外にも、ジョイス、ヘミングウェイ、フィッツジェラルド、ミラー、リルケなど、作家、詩人たちが大勢集まっていたと言いますから、美術愛好家でなくても一度はタイムトラベルして見てみたいものです。ちなみに、ある人にどの国のどの時代に行きたいかと聞いたところ、1週間後の日本に旅して、馬券の結果を知りたいとのことでした。(杉)

- ◆当協会では**会員を募集**しております。お申込み、お問合せは下記事務局まで。
- ◆Mon Nara 誌への投稿、とくに新鮮で多様な話題、直近のフランス情報などを歓迎します。誌面の都合でご相談のうえ表現を変えさせていただくことがあります。Mon Nara 6月号は5月31日が原稿締切日です。
- ◆会員のみなさまで「Mon Nara」(2月、6月、10月発行)、または「Mon Nara 通信」(4月、8月、12月発行)に**チラシ同封を希望される方**は、1)内容がフランスに関わるもの、2)本人または代理人が発送作業に参加、の二つの条件を満たせば同封可能ですので、下記事務局までお問い合わせください。

Mon Nara 通信 2022年4月 numéro 12

奈良日仏協会 Association Franco-Japonaise de Nara

HP : <http://www.afjn.jp> E-mail : nara.afj@gmail.com FAX : 0742-62-1741

〒630-8226 奈良市小西町 19 マリアテラスビル 2F 野菜ダイニング菜宴[郵便物のみ] 発行責任者:三野博司